

お客さまから信頼される、安全・安心のバスを目指して

## デジタル技術を活用した

### 新型研修車両「S-tory prologue」を導入いたします

○運転傾向をデータ化し、指導効果の向上を期待

○当社路線バス新カラーリング「S-tory」のデザインを当研修車両へオリジナルアレンジ

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、取締役社長：渡邊一洋）は、乗務員の研修、指導を行う西武バス研修所に、新型研修車両「S-tory prologue（エスストーリー プロローク）」を導入いたします。

西武バスでは「安全は全ての業務に優先する」の安全方針に基づき、運転士を対象にこれまでも実車を活用した実技訓練などの研修を定期的に行っておりましたが、更なる運転技能レベルの向上を目的として、様々な装備や機能を搭載した研修車両の導入を決定いたしました。

この研修車両は、デジタル技術を活用したフルオーダーの研修車両であり、運転士の運転傾向を計測し数値化する機能を有しており、安全確認の状況等もデータ化されます。

これら新たな装備、機能により、運転指導教官の経験に基づいた指導に加え、運転技能がデータ化されることで、指導効果のさらなる向上が見込まれ、新人運転士の運転技量不足解消の一助となるだけでなく、既に経験を積んでいる既存運転士の運転技術や安全確認の癖を再認識させることも可能となり、当社が目指す安全・安心のバスの提供につなげていくことが期待されます。

研修車両の導入の詳細については別紙をご確認ください。



新型研修車両（イメージ）

(別紙)

・導入先

西武バス研修所

・新型研修車両に搭載される主な装備と機能

＜Object（オブジェ）＞

車両と運転士の体の一部にセンサーを取り付け、運転士の行動や車両速度を計測して、コース内の設定地点での運転士の安全確認などの行動をデータ化する

＜アイマークレコーダー＞

運転士が運行中にどこを見ているか計測する

＜距離計測機能＞

前方や側方の車や障害物との距離を測定する

＜動揺計測機能＞

加速度を計測して車内の揺れを計測する

・期待できる効果

上記にて運転技能を数値化し、従来までの運転指導教官の経験に基づいた指導や、運転士自身の感覚的な捉え方に加え、上記機能にて運転技能等を数値化することで客観的なデータを用いた研修を目指す。

・使用開始

2021年7月下旬を予定

・名称

**「S-tory prologue（エピソード プロローグ）」**

2020年春より導入した新カラーリングデザイン車両

「S-tory（エピソード）」にちなみ、

①新たに研修を受けた運転士とお客さまが物語を紡ぐ序章としての位置づけ

②研鑽を積むことで「S-tory」となりお客さまをお迎えするという2点を踏まえ、S-toryに序章（プロローグ）という副題を付けた愛称といたしました。

